



BlueBay
Asset Management

ハイ・イールド債と ESG 投資は仲の良いカップル

2017年3月14日

ハイ・イールド債の分析にESGの分析を取り入れることで、精度が増し、
ダウンサイド・リスクを軽減しながら魅力的なリスク・リターンを獲得できる
可能性が高まるかもしれません



マイリン・ゴ

シニア ESG アナリスト、投資リスク

債券市場における ESG

環境・社会・ガバナンス(ESG)投資は、長い間誤解されてきました。

ESGは株式の投資に限定されているものであるとみられていますが、これはおそらく株の投資家だけが企業に影響を与えることができると思われているからでしょう。もしくは、一部の人はこれは真剣な投資家にとっては有効なアプローチではなく、価値の創出またはパフォーマンスよりも、費用をかけてもESG投資という価値を高めようとする投資家にもみ向いているものである、と捉えているかもしれません。



マーク・ケンプ

クライアント担当
ポートフォリオ・マネジャー

しかし、このどちらの意見にも同意できません。ESGをコアな要素として考慮することは、債券市場全般、中でもグローバル・ハイ・イールド債において重要かつ成長過程にある役割になっていると考えています。また、このアプローチは価値を生み出すことに不可欠で、バリューに基づくアプローチと調和していると考えています。

ESG投資は広範な債券市場において有効であると考えていますが(但し、株式投資におけるアプローチと異なる可能性があります)、資産クラスそのものの投資のリスクが高いことと、ブルーベイの投資アプローチから、ハイ・イールド債の運用で最も効果を発揮すると考えています。

ダウンサイド・リスクを最小化することがハイ・イールド債の投資においては重要

投資適格未満のレバレッジド市場の投資において長期的な成功を収めるために重要なことは、ダウンサイド・リスクを最小にして、元本毀損を防ぐ能力であると考えています。最終的にこれは、債務返済能力に対するリスクが低く、リスクに見合ったリターンを得られる企業に投資をすることで達成されると考えています。

そうしたことからESGの要素を投資プロセスに組み入れ、こうしたリスクを分析することが発行体の信用力を考慮する上で重要な役割を果たすと考えています。異論の多い事業活動や無責任な行動、もしくはガバナンスが疑問視されるような企業は、ネガティブなイベントの影響を受けやすく、価格のボラティリティの高まりや格下げ、ひいてはデフォルトに見舞われる可能性があります。明快なESG分析は、質の高い企業を選別するために補完的な役割を果たし、長期的に元本毀損を招くような問題を考慮する上で重要な要素になると考えています。

ブルーベイのハイ・イールド債の投資においては、コアなポジションは長期的に保有し、機動的なポジションはより短い保有期間にするというアプローチを取っていますが、これは、ESGの長期投資の時間軸と合致します。

概して、ESGの要素を投資決定のプロセスに組み入れることで、価値を保全し長期的に価値を創出することにつながる可能性があると考えています。ESG分析によって特定の商品(兵器、タバコ、石炭などの製造業者等)や行為(人権侵害、環境破壊、汚職等)を排除し、企業の行動をより深く理解して影響を与えることで、価値を高めて良好なパフォーマンスを得ようという目標と一致した魅力的な投資戦略を提供することにつながると考えています。

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1029号

加入協会: 一般社団法人 日本投資顧問業協会 一般社団法人 投資信託協会

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、資料作成時点(2017年3月15日)のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社による書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途「契約締結前交付書面」等をお渡ししますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなされるようお願いいたします。